今後のスケジュール等について

1 令和3年度保護林管理委員会について

「緑の回廊における再生可能エネルギー施設の開発に関する基準や手続きを明確化」するにあたり、「評価項目の標準例」が作成されました。

また、環境影響評価の計画段階(方法書等)にこれら評価項目及び留意される べき事項が反映されることを目的に、緑の回廊の設定方針に評価項目の標準例を 参考に回廊ごとの特徴を反映した設定方針を作成することとなりました。

現在、関東森林管理局管内において再生エネルギー施設の計画が見込まれる地域が集中しており、時期を失することなく設定方針を作成し公表する必要があることから、本年中に第2回保護林管理委員会を開催し議論・決定することします。

なお、設定方針については事前に関東森林管理局において(案)を作成のうえ、 令和 4 年 1 月下旬に WEB にて開催します。(新型コロナの影響等により開催型式 は変更する場合があります。)

- 2 モニタリング評価専門委員会について 令和3年2月中旬から2月下旬(WEB開催予定)
- 3 その他
 - ○地帯区分設定の取扱いについて

令和3年度に設定を検討する生物群集保護林の地帯区分については、適正な保護・ 管理を行う観点から森林計画策定のスケジュールを勘案し、事前にご確認いただきま した。

森林計画樹立に併せ進めた場合の作業スケジュールを勘案すると前年度の8月下旬までには区域の検討・確定する必要があります。

そのため、今後の取扱いについてはモニタリング評価専門委員会で確認後、保護林 管理委員会開催前に資料等を送付させていただきご意見を取りまとめのうえ決定する ことします。

4 令和 4 年度モニタリング予定箇所について 別紙のとおり

令和4年度保護林モニタリング予定箇所(保護林)

関東森林管理局 保護林一覧

◎:要素大、○:要素有り、△:要素見込み

	樹立	<i>tt</i> —	保護林名称		保護 林番号	面積(h a)	2022 R4	5 年の要素				素	=		L.,		$\overline{}$	
計画区	年度	管轄署						ア	イ	ウ	エ	才	カ	+	備考 ————————————————————————————————————		クマ	病虫害
八溝多賀	⊔o∩	芸坛		希少	15	103.51	0	0							保護林内のシラカンバ群落は茨城県内における数少ない自生地の一つで			
八件夕貝	1130	火纵	小川ブナ希少個体群保護林	布グ	13	103.31									あり、遷移途中にあることから、今後のシラカンバ群落の推移に注視が			d
八溝多賀	H3U	茨城	ヤミソ゛サン	希少	20	29.49	0	0							ダケカンバ、ツガの林分からブナ、ミズナラが占有する林分への遷移途			
一一	1130	<i>2</i> \250	ハ溝山ツガ・ダケカンバ希少個体群保護林	布グ	20	29.49		0		O					中にあり、変化を観察する。			
鬼怒川	H30		オクキヌ	群集	3	2,585.35	0					\bigcirc		\bigcirc	下層植生に鳥獣被害が顕著に見られることから、群落構造・生育環境の	\bigcirc		1
787017T	1130		奥鬼怒生物群集保護林	417	J	2,303.33	0)		9	変化、構成樹種等の生育状況を注視が必要。			
鬼怒川	H30	日光	<i>1 y y y y y y y y y y</i>	希少	23	69.28	0					\bigcirc		(i)	湿原の一部に乾燥化等環境の変化が見られ、利用過多による裸地化や外	\bigcirc		1
7670711	1100		小田代湿原希少個体群保護林	113 2		03.20	<u> </u>)			来植物の侵入による生育状況の変化等に注視が必要。 対策:植生保護	<u> </u>		
鬼怒川	H30	日光	1	希少	24	57.08	0					\bigcirc		0	シカの食害が顕著なエリアのため、後継樹の生育状況及び他種との競合	\bigcirc		1
73.6.7			唐沢コメツガ希少個体群保護林	.,,,,		01100									状態等について注視が必要。対策:剥皮防止ネットを設置済み。(ウ			
鬼怒川	H30	日光	コウトク NV (本 ・・・・・	希少	27	13.71	0					\circ			H30区域拡充(3.69 h a → 13.71 h a)	\circ		1
			光徳ハルニレ希少個体群保護林												シカの食害が顕著なエリアのため、保護対象木、下層植生への影響に注			
鬼怒川	H30	日光	コウトク ル (本 ゝ ず ユ ニ ゔ	希少	28	24.28	\circ					\triangle			シカの食害が顕著なエリアのため、保護対象木や下層植生への影響に注	\circ		1
		, 5	光徳ミズナラ希少個体群保護林	1,1-2									<u> </u>		視が必要。			
鬼怒川	H30	日光	_{サイノコ} 西ノ湖ヒメコマツ・シロヤシオ希少個体群保護林	希少	29	56.24	\circ					\circ		0	保護対象木の競合状況や後継樹の生育状況の有無の確認が必要。	\circ		1
			四ノ湖とメコマン・シロヤシオ布少個体群休護州												対策:樹皮剥ぎ防止ネット設置済み。(ヒメコマツ)			
鬼怒川	H30	日光	センジュ ハラ 千手ヶ原ミズナラ・ハルニレ希少個体群保護林	希少	30	98.95	\circ					\circ			主木間の競合状況や後継樹の生育状況の確認が必要。	\circ		1
			十手ヶ原ミステラ・ハルーレ布少個体群体護体												対策:植生保護柵を一部設置済み。			
鬼怒川	H30	日光	センジョウガハラシツゲン 戦場ケ原湿原希少個体群保護林	希少	31	174.68	\circ					\circ			湿原の一部に乾燥化等環境の変化が見られるため、乾燥化に伴う木本類	\bigcirc		1
			拟场分层亚层布分型体件体设体												の侵入、利用過多による裸地化、外来植物の侵入に注視が必要。対			
鬼怒川	H30		ゟゕヮヮヮヮヮヮヮヮヮヮヮヮヮヮヮヮヮヮヮヮヮヮヮヮヮヮヮヮヮヮヮヮヮヮヮヮ	希少	32	90.89	\circ					0			シカの食害が顕著なエリアのため、保護対象木、下層植生へのシカの影	\bigcirc		1
															響に注視が必要。クマによる樹皮剥ぎも確認あり。			
鬼怒川	H30	日光	チャノキダイラ 茶ノ木平ウラジロモミ希少個体群保護林	希少	33	81.43	\circ					\bigcirc		0	シカの食害が顕著なエリアのため、保護対象木、下層植生へのシカの影響に対象	\circ		1
			宗/ 小十 グ ノ グロ じこ 布 グ 回 体 付 床 透 你												響に注視が必要。			
鬼怒川	H30	日光	ユタキ 湯滝ミズナラ遺伝資源希少個体群保護林	希少	35	13.18	\circ					\bigcirc			シカの食害が顕著なエリアのため、下層植生の変化に注視が必要。	\bigcirc		1
															対策:植生保護柵を一部設置済み。(H13.12) カラマツの枯損木発生状況や後継樹の生育状況及び他種との競合状態等			
鬼怒川	H30	日光	リュウズ タキ 竜頭の滝カラマツ遺伝資源希少個体群保護林	希少	36	12.98	\circ					\bigcirc		\circ		\bigcirc		1
															について注視する。保護林内植生保護柵設置 マツノザイセンチュウによる被害が発生しているエリアであることか			
山梨東部	H30		スワクモリ 諏訪森アカマツ希少個体群保護林	希少	85	10.79	\circ					\bigcirc			ら、被害の発生状況に留意しつつアカマツの生育状況に注視が必要。			\circ
															静岡からのルートは調査不可のため、当面天竜計画区のみで調査実施。			
天竜・静岡	30 · R	天竜・静岡	हो きょう	生態	7	303.49	\circ					\circ		0	コメツガを主体とする天然林は健全に生育・更新しているが、一部区域	\circ		1
			/ 17 / 16 / 17												アカヤシオ・シロヤシオの実生が確認されておらず、上層木の変化に伴			
天竜	H30	天竜	おいて 17777	希少	67	199.39	\circ					\triangle		\circ	うアカヤシオ等の生育状態の変化、林床に注視が必要。下層植生にシカ	\circ		1
															イヌブナ等の成木の生育状況や主木間の競合による群落構造の変化、後			
天竜	H30	天竜	コガネ沢ブナ・イヌブナ遺伝資源希少個体群保護林	希少	68	28.21	0					\bigcirc			継樹の生育状況にをモニタリングする。 下層植生及び樹皮にもシカ食害	\circ		4
			カワカミ 川上ツガ・ハリモミ希少個体群保護林	希少	69	54.03	0	0							ツガ、ダケカンバ、ハリモミなどの成木の生育状態や、主木間の競合に			
天竜	H30	天竜										\triangle		\bigcirc	よる群落構造の変化、後継樹の生育状況の変化に注視する。	\circ		1
天竜			キョウマルヤマ 京丸山キョウマルシャクナゲ希少個体群保護林	希少	71	37.49	0								シロヤシオやキョウマルシャクナゲの成木・稚樹の生育状況の変化、林			
	H30											\triangle			床における後継樹の生育状況など植物群落の動態に注視が必要。	\cup		, I
	1122	一立	ซ> ้ y	* .1.	70	04.05	\sim								H30区域拡充(1.23 h a →21.20 h a)			
天竜	H30	天竜	瀬尻ホソバシャクナゲ希少個体群保護林	希少	72	21.20	\circ						(0	》			<u> </u>
* 4.00 - *	1 110	±4.52 — -:	ミナミ ナンブ・テカリカ・カ		_	0.044.50									白倉・中ノ尾根山でシカ食害顕著 保存地区におけるシカ対策が課題			
静岡・大竜	1 • H3	骨齢尚・天竜	ますミ カンプ・テカリダケ 南アルプス南部光岳森林生態系保護地域	生態	/	2,944.50	0								静岡からのルートは調査不可のため、当面天竜計画区内のみ調査。			, I
															時間がラジルートは明正中でのため、当面人も計画色での外間直。			

令和4年度モニタリング予定箇所(緑の回廊)

関東森林管理局 緑の回廊一覧

計画区	樹立年度	管轄署	回廊名称	回廊番号	面積(h a)	現地調査プロット	多様性プロット	実施間隔(年)	2022 R4 備考		シカ	クマ	病虫害
鬼怒川		日光・	口业纳	1	11 225 74		7	10					
利根上流		沼田	日光線	4	11,235.74		1	10	O				